

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2024 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	新規就農者数（49 歳以下）	28 人/年	33 人/年	13 人/年	33 人/年
	中核的経営体数	2,097 経営体	2,120 経営体	2,510 経営体	2,150 経営体
2	堆肥入り化学肥料の施用面積	195ha	240ha	230ha	300ha
	鮮度保持機能の向上を行う施設数（累計）	-	1 施設	2 施設	3 施設
3	新規需要米等の作付け面積	228ha	245ha	241ha	260ha
	ブルーの栽培面積	71ha	71ha	71ha	71ha
4	化学合成農薬・化学肥料を原則 50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	474ha	592ha	590ha	725ha
5	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,444ha	4,583ha	4,543ha	4,602ha
	防災重点ため池等の地震耐性評価の実施箇所数（累計）	18 か所	44 か所	46 か所	84 か所
6	売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上額	23.3 億円	23.8 億円	28.6 億円	25 億円
	新たに地元食材を供給する宿泊施設、飲食店数（累計）	-	7 施設	6 施設	20 施設

重点取組 1：皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

- 担い手を明確にする地域計画の策定と実現に向けた支援
 - ・ 市町村の地域計画策定のための協議の場設置に向けた支援(28 回)
- 意欲ある担い手の生産技術、経営能力向上支援
 - ・ 新規就農スキルアップ講座による生産技術の向上（講義 3 回）
 - ・ 農業複式簿記講座を通じた経営管理能力の向上（講義 7 回）
- 市町村、関係団体と連携した新規就農者の確保・育成及び就農後のサポート
 - ・ 地域が求める品目での「産地提案書」の作成（3 市町 3 品目）
 - ・ 市町村サポートチームによる営農状況の把握と課題解決支援（4 経営体（延べ 8 回））



協議の様子

重点取組 2：夏秋期葉洋菜等の全国ナンバー 1 産地としての持続的発展

- 需要に応じた葉洋菜の計画生産と、環境に配慮した資材・技術導入によるグリーン栽培の推進
 - ・ ペレット堆肥及びオリジナル肥料の葉菜類への有効性確認試験の実施（2 か所）
 - ・ フェロモン剤利用による減農薬栽培の取組支援（1 か所）
- 適正規模による効率的な経営モデルの推進
 - ・ 輪作体系品目の検討、ネギ、セルリー導入農家の栽培指導（8 回）
 - ・ サヤインゲンの現地適応性の確認（2 戸）
- 稼ぐ野菜産地を支える鮮度保持施設等の機能向上支援
 - ・ 葉洋菜の鮮度保持施設整備に向けた計画作成支援（1 か所）
 - ・ 作業の効率化を図るためのレタス収穫機の導入及び活用支援（1 か所）



フェロモン剤の効果確認

重点取組 3：佐久の立地と気象を生かした個性が光る産地づくり

- 水田農業の高単収と高品質の維持に向けた安定生産及びスマート農業技術の導入推進と雑草イネの発生面積抑制
 - ・ 関係機関が連携したイネ WCS の取組推進（新規作付面積 6ha）

- ・ 雑草イネ対策プロジェクトチームによる啓発活動の実施（50回）
- **生乳の生産性向上や効率的な飼料給与技術の導入による酪農等の生産基盤の強化**
 - ・ 牛群ドックに基づく飼養管理技術向上指導の実施（12戸）
 - ・ 個別肉用牛繁殖経営における技術的な課題の洗い出しと改善の指導（6戸）
- **プルーンの生産量維持と佐久の強み生かした品種構成による産地展開**
 - ・ 生食プルーンの認知度向上と魅力発信に向けたイベントの実施（プルーンフェア1回、スイーツスタンプラリーの実施）
 - ・ 新規栽培者の巡回指導の実施（3戸・5回）
- **施設花きの連作障害対策と燃油削減技術の導入による低コスト安定生産**
 - ・ トルコギキョウ立枯病対策として土壌還元消毒現地検討会の開催（1回）
 - ・ カーネーション高温対策のための遮光・遮熱資材実証ほの設置（2か所）



佐久プルーンフェア

重点取組4：環境にやさしい農業の取組面積の拡大

- **土壌診断に基づく施肥設計や化学肥料を削減した栽培の推進**
 - ・ 葉洋菜類の土壌診断結果に基づく基肥減肥試験ほの設置（2か所）
 - ・ 施設花きの土壌診断結果に基づく個別面談の実施による適正施肥推進（15戸）
- **有機農業生産者グループの育成と安定生産の推進**
 - ・ 有機農業生産者の経営実績調査の実施（1戸）
- **農畜産物の安全性確保のためのGAP導入の推進**
 - ・ GAP導入推進のための研修会の開催（1回）と巡回指導の実施（2回）



キャベツ減肥試験現地検討会

重点取組5：農業農村の多面的機能の維持と災害から暮らしを守る防災対策の実施

- **多面的機能支払事業等を活用した農地や農業用水路の適切な管理の支援**
 - ・ 活動面積の維持・拡大を図るため、市町村や活動組織への制度説明会や技術研修会等の開催（14回）
- **防災重点農業用ため池に係る防災対策の集中的かつ計画的な推進**
 - ・ 地震に対する耐性評価の実施と、結果の管理者との共有による対策工事等の取り組み支援（15か所）
- **地域ぐるみで取り組む野生鳥獣被害対策への支援**
 - ・ 交付金等の活用による市町村と連携した被害対策の推進（4市町村）



野生鳥獣被害対策研修会

重点取組6：地域食材の魅力を伝える地消地産と食育の推進

- **農産物直売所の店舗運営、品揃え充実、直売所間連携等のための研修会等の開催**
 - ・ 農産物直売所の共通課題明確化のための農産物直売所交流会の開催（1回、2月）
- **特徴ある農畜産物・水産物の宿泊施設等への供給による地消地産の推進**
 - ・ 農畜産物流通業者等との地消地産流通体制確立打合せ（1回）
 - ・ 宿泊施設等を対象とした見学会の開催（2回）
- **関係機関と連携した食育・花育活動の推進**
 - ・ 市町村、加工グループと連携した地元産大豆を利用したみそづくり教室の開催（3回）
 - ・ 地域の花を利用したフラワーアレンジメント教室の開催（5回）



みそづくり教室